

# ArcGIS Pro

さまざまな情報を効果的に  
表現・解析・管理・共有できる  
デスクトップ GIS アプリケーション

ArcGIS Pro は、地理空間情報の効果的な活用を支援する ArcGIS Desktop の最新 GIS アプリケーションです。豊富な GIS 機能（表現・解析・管理・編集等）に加えて、クラウド GIS サービス「ArcGIS Online」と連携して利用することができ、さまざまなシーンで活用することができます。

※ArcGIS Desktop の保守契約が有効なお客様は、無償で ArcGIS Pro および ArcGIS Online（指定ユーザー レベル 2）をご利用いただけます。



## ArcGIS Proの特長

### 高い生産性



リボン インターフェイスの採用により、行いたい操作を直感的に選択することができます。また、64 ビット / マルチスレッド対応により、スムーズで快適に作業を行うことができ、高い生産性を実現します。

### 3D 対応



3D マップの表示や 3D データの編集機能を標準で備えています。

2D マップと 3D マップの連動表示も可能で、迅速且つわかりやすい状況把握に役立てることができます。

### 柔軟な拡張性



作成したコンテンツを簡単に Web に共有でき、各種アプリ（Web アプリ、モバイル アプリ など）からそのまま利用することができます。

Web GIS と連携することで、より柔軟に幅広い業務で活用いただけます。

# ArcGIS Proの多彩な機能

## 洗練された地図表現



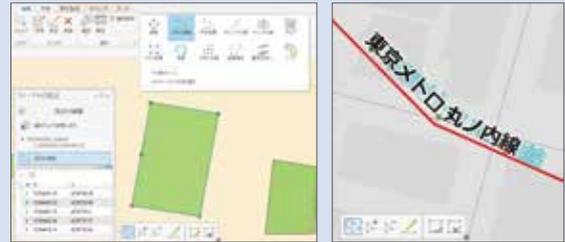
## マルチウィンドウでの連動表示



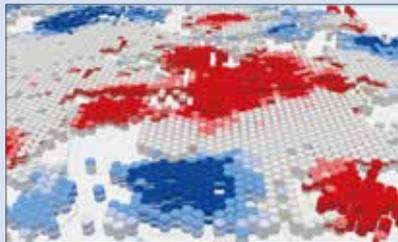
## BIM/CIM、点群データの表示



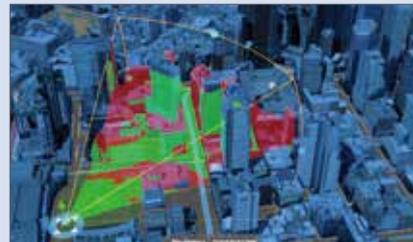
## 効率的なデータ編集



## 時空間統計分析の3D表現



## 対話的な可視解析



## 参考情報

### ●ArcGIS Proを始めるには？

Esri 製品サポート サイト ([www.esri.com/support/esri/](http://www.esri.com/support/esri/)) にある「ArcGIS Desktop スタートアップポータル」(以下の画像)をクリックしてください。



このポータルからアクセスできる ArcGIS Pro のスタートアップページに ArcGIS Pro を始めるための情報が記載されています(要サポート サイト ログイン)。

### ●ArcGIS Proを習得するには？

以下のテキストやガイド、トレーニングを活用することで ArcGIS Pro の習得に役立てることができます。(詳細については ArcGIS Pro スタートアップページをご参照ください。)

- ・ ArcGIS Pro ワークブック (無償ダウンロード提供)  
ArcGIS Pro の基本操作を自習できるチュートリアル
- ・ ArcGIS Pro 逆引きガイド (無償ダウンロード提供)  
目的別に ArcGIS Pro での操作方法を調べられるガイド
- ・ トレーニング コース「ArcGIS Pro : 基本操作」  
ArcGIS Pro の基本機能を総合的に習得できる講習会



## ドローンの価値を最大限に

Drone2Map for ArcGIS は、ドローンで取得した画像から、オルソ画像、標高データ、正規化植生指数画像、3D 点群データ、3D メッシュなどのプロフェッショナル向けの GIS データを短時間で簡単に作成することができます。

Drone2Map for ArcGIS を利用することで、ドローンを単なる画像取得デバイスとしてではなく、GIS データの生成ツールとして業務や研究などで活用できるようになります。

## 6つの特長

### 1. 洗練されたインターフェイスと 1. 容易な操作性

シンプルで使いやすいインターフェイスから、用意されたテンプレートを目的に合わせて選択するだけで、専門知識がなくても処理を行うことができます。



セルフキャリブレーション機能とバンドルプロットク調整により高精度なオルソ画像を作成することができます。

ローリングシャッター補正にも対応しています。

### 3. 迅速に処理結果の確認

短時間で処理可能なテンプレートやオフライン機能を使って、ネットワークのない作業現場でもすばやく処理結果を確認することができます。



### 4. 汎用性の高いデータの作成

作成された画像は GeoTiff 形式として、点群データは SLAS や LAS、PLY、XYZ、3D メッシュはシーンレイヤーパッケージ (SPK) や OBJ、FBX など複数の形式に出力することができますので、ArcGIS だけでなく他のアプリケーションでも利用することができます。



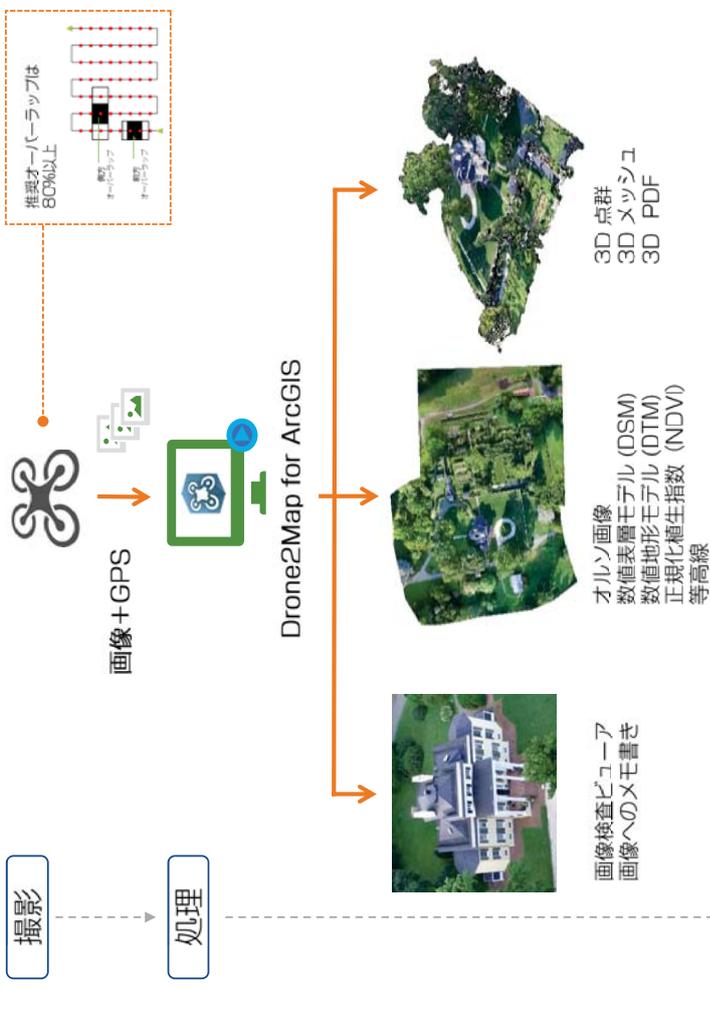
### 5. 処理から解析まで

近赤外カメラを用いて撮影した画像からは NDVI 画像を作成することができます。また、処理後の画像から断面図\*を作成したり、計測ツールで長さや面積、体積\*を計算することができます。



\*同じマシンに ArcGIS Pro が搭載されており、また 3D Analyst エクステンションが認証されていると使用できます。

## 撮影から画像処理、データ活用までのフロー

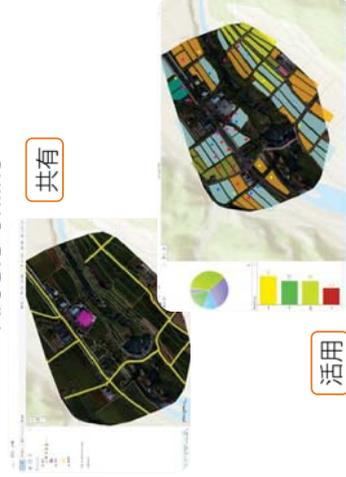


## データ活用

Web で共有



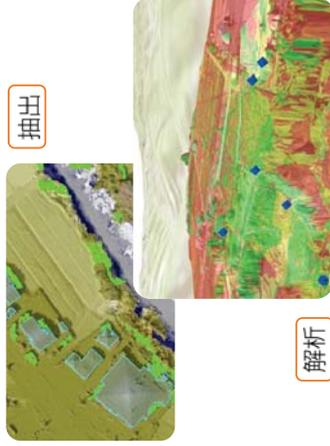
ArcGIS Online



より高度な解析



ArcGIS Desktop



# FEATURE ANALYST

## 衛星・航空写真やスキャンした地図画像から半自動的にフィーチャを抽出

Textron Systems社によって開発された、画像から半自動的にフィーチャを抽出するためのエクステンション製品です。ArcMap上で起動するツールバーから道路、河川、建物、植生、水域などのフィーチャを抽出することができます。

土地被覆図・複数クラスを含む分類図などの生成に適しています。時間がかかり、人為的ミスが多かったデジタイズ作業を可能な限り排除することで、低コストで高品質なデータが得られます。



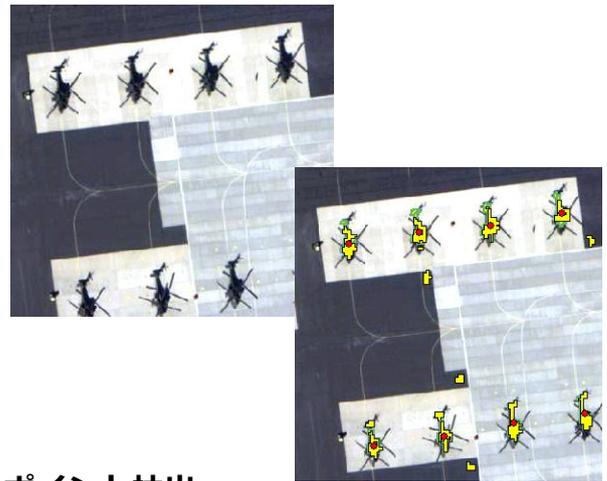
### 特徴

- ① 画像範囲内のスペクトルから空間的関連性やパターン情報を見つけてきます。
- ② ユーザーが作成したサンプルデータから特徴を見つけ、空間的関連性を調べます。
- ③ 正しい結果と誤った結果のフィーチャを学習することができます。
- ④ 階層的学習機能と呼ばれる反復機能によって抽出結果を向上させます。



Feature Analyst は、独自のアルゴリズムに基づき、高解像度の衛星や航空写真からサンプルを収集し、半自動的にフィーチャ抽出を行うことができます。階層的学習機能によって抽出特徴を学習させより抽出結果を改善させることができます。

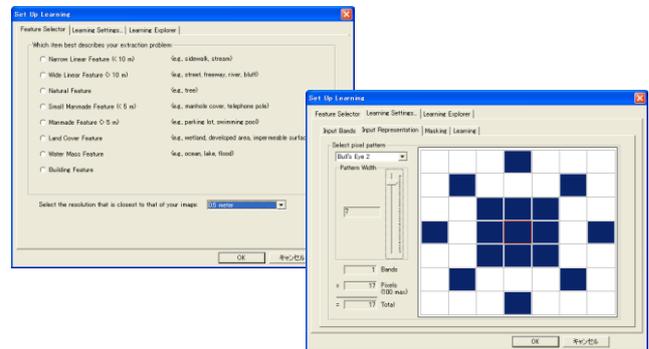
Feature Analyst は、2つのライセンスから構成されます。基本的なフィーチャ抽出が行なえる Standard ライセンスに 高度な機能を追加した Professional ライセンスをご用意しています。



ポイント抽出

## Standard

- フィーチャ抽出
- 土地被覆分類
- シンプルなバッチ処理
- 階層的学習機能
- フィーチャの結合
- ポリゴンからラインデータ/ポイントデータへの変換
- ベクター/ラスター変換
- ポリゴンの集約/スムージング
- 属性の付加（面積・周長・長さ・幅など）
- 高度なベクター編集機能



空間的関連性の設定



スキャン画像のベクター化

## Professional

- 教師無し分類
- 変化抽出
- 標高データ (DEM) を使用した 3D フィーチャの抽出
- ラスター演算機能
- 高度なバッチ処理（複数の画像・モデルの利用）

### 動作環境

#### 対応プラットフォーム

ArcGIS Desktop (各基本製品) version 10.2.x, 10.3.x, 10.4.x, 10.5.x, 10.6.x

#### 対応 OS

ArcGIS Desktop の動作環境に準じます。

#### ライセンス

ArcGIS とは異なる、独自のライセンス管理システムを採用しています。ノードロックおよびフローティング形式から選択できます。

# RemoteView

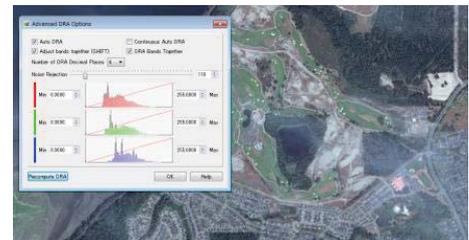
高機能画像処理/判読用  
ソフトウェア



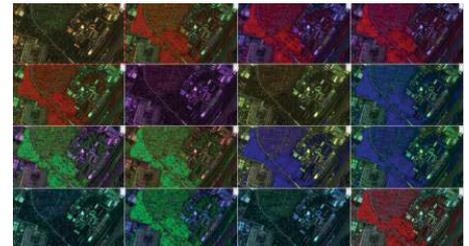
RemoteView は、軍事・防衛、国境警備、災害救援、天然資源管理、土木工学、生態系モニタリング、都市計画、環境工学、石油・ガス探査、不動産、電力会社、その他 様々な分野において地理空間ソリューションとして活用されています。

総合的な画像解析機能を有していますので、データの読み込みから表示、調整、解析、判読、レポートまでを一貫した操作で行えます。

幾何補正やオルソ補正、画像分類、バンド間演算、画像強調等、一般的な画像処理はもちろん、画像を判読/レポートする際に用いる、さまざまな機能を有しています。



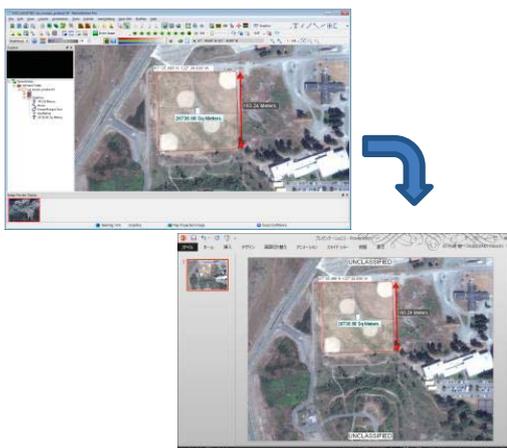
ヒストグラム調整



MAD (Multi-band Analysis Display)



拡大鏡



ウィンドウ レポートをパワーポイントへ

ソフトウェア専用のフォーマットはありません。処理結果は汎用的な画像フォーマット (TIFF, JPG, NITF) へ出力が可能です。

画像データのみならず、ベクターデータや点群データ、WMS/WCS といったウェブサービスも扱うことができます。

ソフトウェア上で様々な情報をアノテーションとして書き込むことができます。PDFとして出力することもできますし、パワーポイントのスライドとして出力することもできます。

# 豊富なエクステンション

## 3D Pro

画像やベクターデータの3D表現が可能です。

## GeoCatalog

さまざまな地理空間データのカタログ化が可能です。

## RVSAR

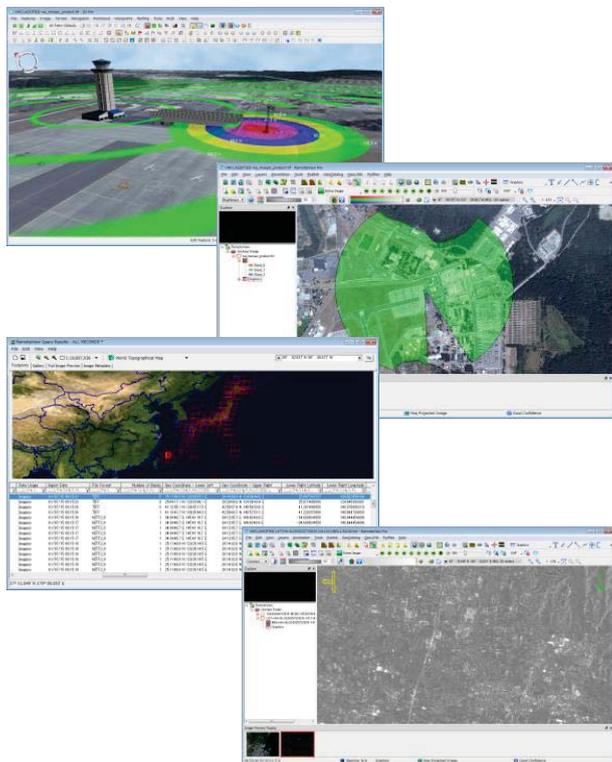
SARデータの表示、可視化が可能です。

## VirtualMosaic

モザイク画像の作成が可能です。

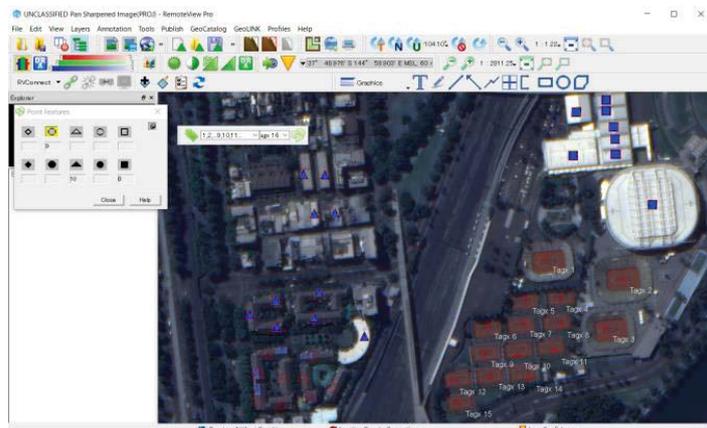
## RVConnect

ArcGISと接続し画像の共有や同期表示が可能です。



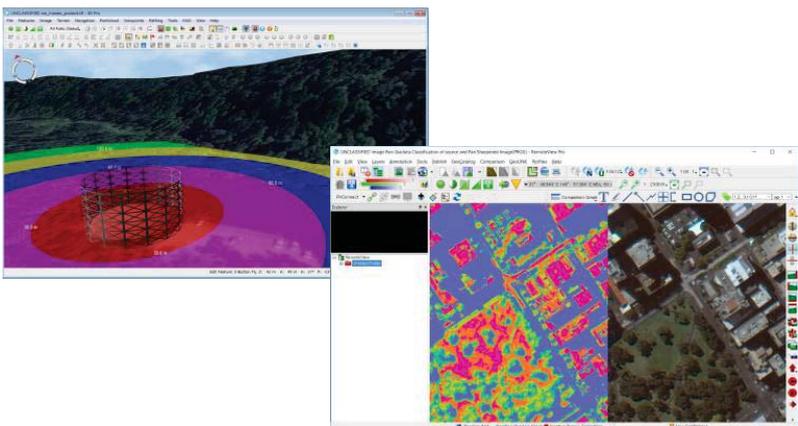
## 対応データ

ADRG	EOSAT	PNG
Arc/Info Binary	IMAGINE	RADARSAT
BMP	GIF	SDTS Raster
CADRG	JPEG	SICD
CIB	JPEG2000	SPOT
COSMO-SkyMed	KOMPSAT 5	TerraSAR-X
DPPDB	MrSID	TDRD 1.29, 2.3, 4.3
Digital Globe	NITF 1.1	TIFF 6.0
DTED	NITF 2.0, 2.1	BIGTIFF 6.0
ECW	NSIF 1.0	USGS DEM
ENVI	PCIDSK	



## 動作環境

Windows 7 x64  
CPU 8コア以上推奨  
メモリー 8GB 以上推奨  
ハードディスク 3GB  
グラフィックス  
NVIDIA Quadro / Geforce



## ライセンス形態

使用するマシンを限定する【ノードロック ライセンス】  
ネットワーク上でライセンスを共有する【フローティング ライセンス】  
の2種類より、ご希望の形態で選択いただけます。



## ESRIジャパン株式会社

本社 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-1 Tel: 03-3222-3941 Fax: 03-3222-3946  
札幌オフィス 〒060-0004 北海道札幌市中央区北 4 条西 4-1-1 Tel: 011-806-0031 Fax: 011-806-0032  
名古屋オフィス 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 3-7-26 Tel: 052-265-9720 Fax: 052-265-9726  
大阪オフィス 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 2-14-14 Tel: 06-4807-7015 Fax: 06-4807-7033  
福岡オフィス 〒812-0036 福岡県福岡市博多区上呉服町 10-1 Tel: 092-686-9200 Fax: 092-686-9201  
www.esrij.com e-mail: gisinfo@esrij.com